

## リード芦屋新聞

発行元

リードあしや

記事  
谷村京美写真  
野谷和奏

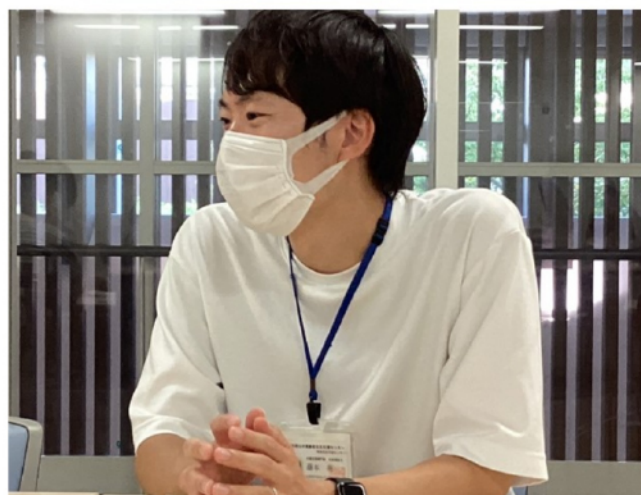
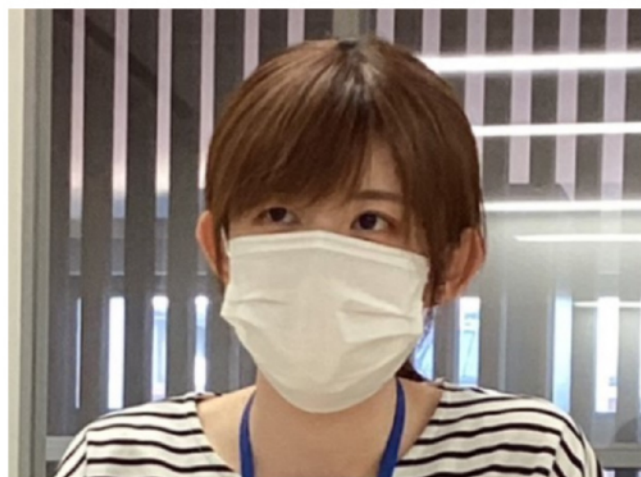
## 一人にしない社会へ

## 住民主体の地域づくり支える推進員

芦屋市で地域支え合い推進員として活動をしている、寺岡康世さん（写真上）と藤本亮さん（写真下）に話を聞いた。

地域支え合い推進員は、地域住民の活動の支援などを通して、誰もが住み慣れたまちで暮らし続けるためのサポートを担う。

業務の進め方は市によって異なっている。一つの法人が全ての業務を行っているところもあるが、芦屋市は地区によって担当している法人が異なる。芦屋市西山手高齢者生活支援センターに所属している藤本さんは三条地区と山手地区を、



芦屋市社会福祉協議会に所属している寺岡さんは芦屋市内全域を担当している。寺岡さんは「地域支え合

い推進員の役割は、住民が孤立しない社会や地域をつくっていくことです。人と人、人とボランティア団体

などとの繋がりをつくったり、今あるつながりを保つための支援をしたりすることを心がけています」と話

す。加えて「地域支え合い推進員自身が、地域づくりや地域の住民との関わりを楽しいと思えると、推進員としての活動がより充実するのではないのでしょうか」と話し、地域と密接に関わり支援する推進員の思いを述べた。

## 地域に寄り添う

「つどい場」から繋がりを

あしや 2023  
つどい場ガイド  
Ashiya tsudoi-ba guide



芦屋市の地域支え合い推進員の活動の一つに、芦屋市に住んでいる人が自主的にこなしている活動を掲載した「つどい場ガイド」の発行がある。

よりたくさんの方々が芦屋市民に「つどい場」の存在を知ってもらい、「活動をした」「誰でも気軽に参加できる場所を作りたい」と思う人が増えて欲しいという願いがある。

芦屋市の地域支え合い推進員に尋ねたところ、「活動が始まるまでは繋がりがなかった参加者同士が、交流を深められるところです」と答えた。また「活動一つ一つにエピソードや思いがあります。主役は活動をしている人たちで、私たちは彼らを後ろから支える存在でありたいと思っています」と話し、推進員一人一人が地域とそこに住んでいる住民に寄り添って活動する大切さを語った。